【資料２－１】

北海道胆振地域公共交通活性化協議会
令和６年度事業計画（案）

○　路線最適化に向けた検討支援事業

１　概要

最適化の対象路線のうち、有珠線、豊浦線、洞爺湖温泉線①・②について、専門的知見を有する事業者が関係自治体と道南バスの最適化の調整を支援（委託事業）。

２　必要性

これらの路線は、複数市町を跨ぐ地域の幹線として重要な役割を担っているが、輸送量の低下により、今後、地域幹線系統補助の対象とならない可能性が高いことから、喫緊に将来を見据えた今後の路線のあり方の検討を行う。

３　事業内容（委託業務の内容）

（１）潜在的な利用者の把握
　① お祭りに合わせてバスの乗り方教室を開催するなど、新たな利用者の掘り起こしを行う
　② 観光客の掘り起こし
（２） 市町営バスやライドシェアなどの代替手段の調査
（３） 上記（１）～（２）や既存利用者の属性を踏まえた路線の見直しの提案、自治体と交通事業者の協議の場の運営支援

４　事業の財源

道費：1, 350, 000 円

５　事業期間

令和６年度中

○　本協議会の運営

上記事業執行や報告、地域公共交通計画の進捗管理等に向けて、総会（年２回程度）、分科会、幹事会を開催

（財源）会議運営費：道費 174, 440 円、事務費：令和５年度からの繰越金の一部 40, 000 円

【参考】地域公共交通計画における各種施策の主な取組予定

別添「参考」のとおり。